

安心 すべての国民が安心しておいしく飲める水道水の供給

a) 水資源の保全

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
1001	水源利用率	一日平均配水量 / 確保している水源水量 × 100	%	水源のゆとりや効率性を示す。比率が高いほど効率的。	60.7
1002	水源余裕率	$[(\text{確保している水源水量} / \text{一日最大配水量}) - 1] \times 100$	%	水源のゆとりや効率性を示す。比率が高いほど水源にゆとりがある。	49.2
1003	原水有効利用率	年間有効水量 / 年間取水量 × 100	%	原水利用の有効性を示す。高いほど効率的。	78.4
1004	自己保有水源率	自己保有水源水量 / 全水源水量 × 100	%	水源の自由度を示す。	100.0
1005	取水量1m ³ 当たり水源保全投資額	水源保全に投資した費用 / その流域からの取水量	円/m ³	水源保全の取り組みに対する指標。	0.017

b) 水源から給水栓までの水質管理

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
1101	原水水質監視度	原水水質監視項目数	項目	原水監視の取り組みに対する指標。	15
1102	水質検査箇所密度	水質検査採水箇所数 / 給水区域面積 × 100	箇所/ 100km ²	給水区域の状況に応じた水質検査箇所の選定に関する指標。	12.9
1103	連続自動水質監視度	$(\text{連続自動水質監視装置設置数} / \text{一日平均配水量}) \times 1000$	台/ (1000m ³ /日)	連続自動水質監視装置と配水量を関係付けた指標。	0.000
1104	水質基準不適合率	$(\text{水質基準不適合回数} / \text{全検査回数}) \times 100$	%	水質基準不適合の割合。0%であるべきである。	0.4
1105	カビ臭から見たおいしい水達成率	$[(1 - \text{ジエオスミン最大濃度} / \text{水質基準値}) + (1 - \text{2MIB最大濃度} / \text{水質基準値})] / 2 \times 100$	%	水質基準を満たした上で、より安全、よりおいしい水を給水するための指標。	-50
1106	塩素臭から見たおいしい水達成率	$[1 - (\text{年間残留塩素最大濃度} - \text{残留塩素水質管理目標値}) / \text{残留塩素水質管理目標値}] \times 100$	%	水質基準を満たした上で、より安全、よりおいしい水を給水するための指標。	0
1107	総トリハロメタン濃度水質基準比	総トリハロメタン最大濃度 / 総トリハロメタン濃度水質基準値 × 100	%	水質基準に示されている値を超えて、より安全な水を給水するための指標。	45
1108	有機物(TOC)濃度水質基準比	有機物最大濃度 / 有機物水質基準値 × 100	%	水質基準に示されている値を超えて、より安全、よりおいしい水を給水するための指標。	37
1109	農薬濃度水質管理目標比	$(\text{測定を実施した農薬毎の最大濃度をそれぞれの水質管理目標値で除した値の合計}) / \text{測定を実施した農薬数} \times 100$	%	水質検査計画書による農薬の濃度の目標値に対する割合。	データなし
1110	重金属濃度水質基準比	$(6\text{項目の重金属毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計}) / 6 \times 100$	%	水質基準項目に定められている6種類による指標。	10
1111	無機物質濃度水質基準比	$(6\text{項目の無機物質毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計}) / 6 \times 100$	%	水質基準項目に定められている6種類による指標。	41
1112	有機物質濃度水質基準比	$(4\text{項目の有機物質毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計}) / 4 \times 100$	%	水質基準項目に定められている4種類による指標。	16
1113	有機塩素化学物質濃度水質基準比	$(9\text{項目の有機塩素化学物質毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計}) / 9 \times 100$	%	水質基準値が定められている7種と水質管理目標に定められている2種の物質による指標。	0
1114	消毒副生成物濃度水質基準比	$(5\text{項目の消毒副生成物毎の最大濃度をそれぞれの水質基準値で除した値の合計}) / 5 \times 100$	%	代表的な消毒副生成物の指標	26.6

1115	直結給水率	直結給水件数 / 給水件数 × 100	%	3階以上の建物で受水槽を経由せず、直結給水を実施している割合。	データなし
1116	活性炭投入率	年間活性炭投入日数 / 年間日数 × 100	%	粉末活性炭を浄水処理として投入した日数の割合。	17.0
1117	鉛製給水管率	鉛製給水管使用件数 / 給水件数 × 100	%	鉛製給水管が使用されている割合。水質の安全性に関する指標。	29.9

安定 いつでもどこでも安定的に生活用水を確保

a) 連続した水道水の供給

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
2001	給水人口一人当たり貯留飲料水量	$[(\text{配水池総容量}(\text{緊急貯水槽容量は除く}) \times 1/2 + \text{緊急貯水槽容量}) / \text{給水人口}] \times 1000$	L/人	地震時などの災害時の飲料水確保に関する指標。	141
2002	給水人口一人当たりの配水量	$\text{一日平均配水量} / \text{給水人口} \times 1000$	L/日/人	節水型消費パターンの促進度合いを示す指標。	318
2003	浄水予備力確保率	$(\text{全浄水施設能力} - \text{一日最大浄水量}) / \text{全浄水施設能力} \times 100$	%	水運用の安定性、柔軟性及び危機対応性を示す指標。	25.4
2004	配水池貯留能力	$\text{配水池総容量} / \text{一日平均配水量}$	日	給水に対する安定性、災害、事故等に対する危機対応性を示す指標。	0.89
2005	給水制限数	年間給水制限日数	日	給水サービスの安定性を示す指標。	12
2006	普及率	$\text{給水人口} / \text{給水区域内人口} \times 100$	%	給水区域内で水道を使っている人の割合を示す指標。	96.8
2007	配水管延長密度	$\text{配水管延長} / \text{給水区域面積}$	km/km ²	給水申込みに対する物理的な利便性を示す指標。	3.9
2008	水道メータ密度	$\text{水道メータ数} / \text{配水管延長}$	個/km	配水管路が担っている給水件数の数を示す指標。	34

b) 将来への備え

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
2101	経年化浄水施設率	$\text{法定耐用年数を超えた浄水施設能力} / \text{全浄水施設能力} \times 100$	%	法定耐用年数(60年)を超えた浄水施設の全浄水施設能力に対する割合を示す指標。	0.0
2102	経年化設備率	$\text{経年化年数を超えている電気・機械設備数} / \text{電気・機械設備の総数} \times 100$	%	法定耐用年数を超えた電気・機械設備の割合を示す指標。	34.0
2103	経年化管路率	$\text{法定耐用年数を超えた管路延長} / \text{管路総延長} \times 100$	%	法定耐用年数(40年)を超えた管路の全延長に対する割合を示す指標。	3.27
2104	管路の更新率	$\text{更新された管路延長} / \text{管路総延長} \times 100$	%	年間に更新された管路の割合を示す指標。	1.19
2105	管路の更生率	$\text{更生された管路延長} / \text{管路総延長} \times 100$	%	年間に更生された管路(内面補修)の割合を示す指標。	0.00
2106	バルブの更新率	$\text{更新されたバルブ数} / \text{バルブ設置数} \times 100$	%	年間に更新したバルブ数の割合を示す指標。	0.87
2107	管路の新設率	$\text{新設管路延長} / \text{管路総延長} \times 100$	%	年間に新たに敷設した管路の割合を示す指標。	0.43

c) リスクの管理

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
2201	水源の水質事故数(件)	年間の水源地水質事故件数	件	年間に油や廃液の流出等で水源が汚染された件数	0
2202	幹線管路の事故割合	$\text{幹線管路の事故件数} / \text{幹線管路延長} \times 100$	件/100km	年間に発生した幹線管路(事故時の影響が大きい管路)の事故件数の割合。	0
2203	事故時配水量率	$\text{事故時配水量} / \text{一日平均配水量} \times 100$	%	岩手中部浄水場が24時間全面停止した場合、配水できる水量と一日平均配水量との割合。システムの融通性、余裕度を表し、サービスの安定性を示す。	96.9
2204	事故時給水人口率	$\text{事故時給水人口} / \text{給水人口} \times 100$	%	岩手中部浄水場が24時間全面停止した場合、給水できない人口の割合。システムの融通性、余裕度を表し、サービスの安定性を示す。	40.2
2205	給水拠点密度	$\text{配水池・緊急貯水槽数} / \text{給水区域面積} \times 100$	箇所/100km ²	給水区域100km ² 当たりの応急給水ができる配水池等の設置数。	12.0

2206	系統間の原水融通率	原水の融通能力／受水側浄水能力×100	%	他系統からの融通可能な原水水量の割合。水運用の安定性、柔軟性及び危機対応性を示す。	0
2207	浄水施設耐震率	耐震対策の施されている浄水施設能力／全浄水施設能力×100	%	耐震対策の施されている浄水施設の割合。	40.4
2208	ポンプ所耐震施設率	耐震対策の施されているポンプ所能力／全ポンプ所能力×100	%	耐震対策の施されているポンプ施設の割合。	40.2
2209	配水池耐震施設率	耐震対策の施されている配水池容量／配水池総容量×100	%	耐震対策の施されている配水池の割合。	29.9
2210	管路の耐震化率	耐震管延長／管路総延長×100	%	管路の耐震化の進捗状況を示す指標。地震災害に対する水道システムの安全性、危機対応性を示す。	※ 11.1
2211	薬品備蓄日数	平均薬品貯蔵量／一日平均使用量	日	浄水場で使用する薬品が、一日平均使用量に対して何日分備蓄してあるかを示す指標。	※ 31.4
2212	燃料備蓄日数	平均燃料貯蔵量／一日使用量	日	浄水場の自家発電設備を稼働するための燃料が何日分備蓄してあるかを示す指標。	※ 0.7
2213	給水車保有度	給水車数／給水人口×1,000	台/ 1,000 人	給水人口1,000人当たりの給水車の保有台数を示す指標。災害に対する危機対応性を示す。	0.0092
2214	可搬ポリタンク・ポリパック保有度	可搬ポリタンク・ポリパック数／給水人口×1,000	個/ 1,000 人	給水人口1,000人当たりの可搬ポリタンク等の保有数を示す指標。災害に対する危機対応性を示す。	16.3
2215	車載用の給水タンク保有度	車載用給水タンクの総容量／給水人口×1,000	m ³ / 1,000 人	給水人口1,000人当たりの車載用給水タンクの総容量を示す割合。災害に対する危機対応性を示す。	0.11
2216	自家用発電設備容量率	自家用発電設備容量／当該設備の電力総容量×100	%	水道施設における電気設備の電力総容量に対する自家発電設備容量の割合を示す指標。非常時の危機対応性を示す。	55.6
2217	警報付施設率	警報付施設数／全施設数×100	%	遠隔で施設の異常を検知できる警報設備の割合。	3.7
2218	給水装置の凍結発生率	給水装置の年間凍結件数／給水件数×1,000	件/ 1,000 件	年間で凍結により破裂した給水装置の延べ数の割合。	データなし

持続 いつまでも安心できる水を安定して供給

a) 地域特性にあった運営基盤の強化

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
3001	営業収支比率	営業収益／営業費用×100	%	収益性を表す指標。高いほどよい。	102.6
3002	経常収支比率	(営業収益＋営業外収益)／(営業費用＋営業外費用)×100	%	収益性を表す代表的な指標。高いほどよい。	107.9
3003	総収支比率	総収益／総費用×100	%	総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す指標。高いほどよい。	95.9
3004	累積欠損金比率	累積欠損金／(営業収益－受託工事収益)×100	%	営業収益に対する累積欠損金の割合。	0
3005	繰入金比率(収益的収支分)	損益勘定繰入金／収益的収入×100	%	収益的収入に対する繰入金の依存度を示す指標。	1.2
3006	繰入金比率(資本的収入分)	資本勘定繰入金／資本的収入×100	%	資本的収入に対する繰入金の依存度を示す指標。	20.8
3007	職員一人当たり給水収益(千円/人)	給水収益／損益勘定所属職員数／1,000	千円/人	損益勘定職員一人当たりの生産性について、給水収益を基準として把握するための指標。	78,175
3008	給水収益に対する職員給与費の割合	職員給与費／給水収益×100	%	給水収益に対する損益勘定職員給与費の割合を示す。事業の収益性を分析するための指標。	11.2
3009	給水収益に対する企業債利息の割合	企業債利息／給水収益×100	%	給水収益に対する企業債利息の割合を示す。事業の収益性を分析するための指標。	10.5
3010	給水収益に対する減価償却費の割合	減価償却費／給水収益×100	%	給水収益に対する減価償却費の割合を示す。事業の収益性を分析するための指標。	52.6
3011	給水収益に対する企業債償還金の割合	企業債償還金／給水収益×100	%	給水収益に対する企業債償還金の割合を示す。企業債償還元金が経営に与える影響を分析するための指標。	36.6
3012	給水収益に対する企業債残高の割合	企業債残高／給水収益×100	%	給水収益に対する企業債残高の割合を示す。企業債残高の規模と経営への影響を分析するための指標。	550.2
3013	料金回収率	供給単価／給水原価×100	%	事業の経営状況の健全性を示す指標。100%を下回っている場合、給水にかかる費用が料金収入以外の収入で賄われていることを意味する。	105.5
3014	供給単価	給水収益／有収水量	円/m ³	有収水量1m ³ 当たりどれだけの収益を得ているかを表す。	220.9
3015	給水原価	(経常費用-(受託工事費+材料及び不用品売却原価+附帯事業費)-長期前受金戻入)／有収水量	円/m ³	有収水量1m ³ 当たりどれだけの費用がかかっているかを表す指標。	209.3
3016	1箇月当たり家庭用料金(10m ³)	1箇月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金＋10m ³ 使用時の従量料金	円	標準的な家庭において10m ³ 使用したときの水道料金。	2,052
3017	1箇月当たり家庭用料金(20m ³)	1箇月当たりの一般家庭用(口径13mm)の基本料金＋20m ³ 使用時の従量料金	円	標準的な家庭において20m ³ 使用したときの水道料金。	3,942
3018	有収率	有収水量／給水量×100	%	年間の配水量に対する有収水量の割合。この指標が低いということは、漏水が多いことを意味する。	81.2
3019	施設利用率	一日平均給水量／一日給水能力×100	%	水道施設の経済性を総合的に判断する指標。数値が高いほど効率的。	67.5
3020	施設最大稼働率	一日最大給水量／一日給水能力×100	%	水道事業の施設効率を判断する指標。100%に近い場合には、安定的な給水に問題があるといえる。	74.6
3021	負荷率	一日平均給水量／一日最大給水量×100	%	水道事業の施設効率を判断する指標。数値が高いほど効率的。	90.5
3022	流動比率	流動資産／流動負債×100	%	短期債務に対する支払い能力を表す指標。	206.3

3023	自己資本構成比率	$(\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}) / \text{負債} \cdot \text{資本合計} \times 100$	%	財務の健全性を示す指標。数値が高いほど安定的といえる。	61.0
3024	固定比率	$\text{固定資産} / (\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}) \times 100$	%	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかを表す指標。	143.5
3025	企業債償還元金対減価償却費比率	$\text{企業債償還元金} / \text{当年度減価償却費} \times 100$	%	投下資本の回収と再投資の間のバランスを見る指標。	69.7
3026	固定資産回転率	$(\text{営業収益} - \text{受託工事収益}) / (\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) / 2$	回	固定資産の何倍の営業収益があったかを示す指標。数値が高いほど施設が有効に稼働しているといえる。	0.08
3027	固定資産使用効率	$\text{給水量} / \text{有形固定資産} \times 10,000$	m ³ / 10,000 円	有形固定資産に対する年間総給水量の割合を示す指標。数値が高いほど施設が効率的。	4.3

b) 水道文化・技術の承継と発展

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
3101	職員資格取得度	$\text{職員が取得している法定資格数} / \text{全職員数}$	件/人	水道維持管理指針(日本水道協会)に記載されている資格の取得状況を示す指標。	2.23
3102	民間資格取得度	$\text{職員が取得している民間資格取得数} / \text{全職員数}$	件/人	配水管工技能講習会と配管設計講習会の修了者及び浄水施設管理技士と管路施設管理技士の取得状況を示す指標。	0.09
3103	外部研修時間	$\text{職員が外部研修を受けた時間} \cdot \text{人数} / \text{全職員数}$	時間	職員の資質向上のための取り組み状況を示す指標。	11.2
3104	内部研修時間	$\text{職員が内部研修を受けた時間} \cdot \text{人数} / \text{全職員数}$	時間	職員の資質向上のための取り組み状況を示す指標。	3.0
3105	技術職員率	$\text{技術職員総数} / \text{全職員数} \times 100$	%	全職員数に占める技術職員の割合。	56.9
3106	水道業務経験年数度	$\text{全職員の水道業務経験年数} / \text{全職員数}$	年/人	職員の水道業務の経験年数を示す指標。	12.3
3107	技術開発職員率	$\text{技術開発業務従事職員数} / \text{全職員数} \times 100$	%	水道技術開発に対する人的投資の度合いを示す指標。	0
3108	技術開発費率	$\text{技術開発費} / \text{給水収益} \times 100$	%	水道技術開発に対する投資の度合いを示す指標。	0
3109	職員一人当たり配水量	$\text{年間配水量} / \text{全職員数}$	m ³ /人	水道サービス全般の効率性を示す指標。数値が高いほど効率的。	351,328
3110	職員一人当たりメータ数	$\text{水道メータ数} / \text{全職員数}$	個/人	水道サービス全般の効率性を示す指標。数値が高いほど効率的。	1,216
3111	公傷率	$\text{公傷で休務した延べ日数} / (\text{全職員数} \times \text{年間公務日数}) \times 100$	%	水道事業の安全衛生管理に係る指標。	0
3112	直接飲用率	$\text{直接飲用回答数} / \text{直接飲用アンケート回答数} \times 100$	%	水道水を直接飲用している人の割合。	データなし

c) 消費者ニーズをふまえた給水サービスの充実

番号	指標	算定式	単位	解説	計算結果 26年度
3201	水道事業に係る情報の提供度	$\text{広報誌配布部数} / \text{給水件数}$	部/件	水道事業の広報の活動状況を示す指標。	2.0
3202	モニタ割合	$\text{モニタ人数} / \text{給水人口} \times 1,000$	人/ 1,000 人	消費者との双方向コミュニケーションを推進している度合いを示す指標。	0
3203	アンケート情報収集割合	$\text{アンケート回答人数} / \text{給水人口} \times 1,000$	人/ 1,000 人	消費者ニーズの収集実行度を示す指標。	0.00
3204	水道施設見学者割合	$\text{見学者数} / \text{給水人口} \times 1,000$	人/ 1,000 人	消費者との双方向コミュニケーションを推進している度合いを示す指標。	9.2
3205	水道サービスに対する苦情割合	$\text{水道サービス苦情件数} / \text{給水件数} \times 1,000$	件/ 1,000 件	消費者の満足度を示す指標。	0.22
3206	水質に対する苦情割合	$\text{水質苦情件数} / \text{給水件数} \times 1,000$	件/ 1,000 件	消費者の満足度を示す指標。水質への満足度を示す指標。	1.30
3207	水道料金に対する苦情割合	$\text{年間の水道料金に対する苦情件数} / \text{給水件数} \times 1,000$	件/ 1,000 件	消費者の水道料金に対する満足度を示す指標。	0.240

3208	監査請求数	年間監査請求件数	件	法令に基づき水道事業に関して監査請求された件数。	0
3209	情報開示請求数	年間情報開示請求件数	件	法令に基づき水道事業に関して情報開示請求された件数。	1
3210	職員一人当たり受付件数	受付件数 / 全職員数	件/人	職員一人当たりの受付件数。水道サービスの効率性を示す。	383

環境 環境保全への貢献

a) 地球温暖化防止、環境保全などの推進

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
4001	配水量1m ³ 当たり電力消費量	全施設の電力使用量／年間配水量	kWh/ m ³	省エネルギーへの取り組みに関する指標。	0.46
4002	配水量1m ³ 当たり消費エネルギー	全施設での総エネルギー消費量／年間配水量	MJ/ m ³	省エネルギーへの取り組みに関する指標。	1.73
4003	再生可能エネルギー利用率	再生可能エネルギー設備の電力使用量／全施設の電力使用量×100	%	環境負荷低減に対する取り組みに関する指標。	0.00
4004	浄水発生土の有効利用率	有効利用土量／浄水発生土量×100	%	環境保全への取り組みに関する指標。	100.0
4005	建設副産物のリサイクル率	リサイクルされた建設副産物量／建設副産物排出量×100	%	環境保全への取り組みに関する指標。	99.9
4006	配水量1m ³ 当たり二酸化炭素(CO ₂)排出量	総二酸化炭素(CO ₂)排出量／年間配水量	g・CO ₂ /m ³	温室効果ガス排出量の抑制による環境対策の取り組みに関する指標。	267.0

b) 健全な水循環

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
4101	地下水率(%)	地下水揚水量／水源利用水量×100	%	地下水を水道原水としてくみ上げた割合。	13.0

管理 水道システムの適切な実行・業務運営及び維持管理

a) 適切な実行・業務運営

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
5001	給水圧不適正率	適正な範囲になかった圧力測定箇所・日数 / (圧力測定箇所総数 × 年間日数)	%	給水圧が適正でなかった日数の割合。給水サービスの状況を示す指標。	0
5002	配水池清掃実施率	[最近5年間に清掃した配水池容量 / (配水池総容量 / 5)] × 100	%	配水池の管理状況を表す指標。	357
5003	年間ポンプ平均稼働率	ポンプ運転時間の合計 / (ポンプ総台数 × 年間日数 × 24) × 100	%	ポンプ施設の稼働状況を示す指標。	データなし
5004	検針誤り割合	誤検針件数 / 検針総件数 × 1,000	件 / 1,000件	検針1,000件当たりの誤検針の割合。	0.07
5005	料金請求誤り割合	誤料金請求件数 / 料金請求総件数 × 1,000	件 / 1,000件	料金請求1,000件当たりの誤請求の割合。	0.07
5006	料金未納率	年度末未納料金総額 / 総料金収入額 × 100	%	料金滞納の度合いを示す指標。	2.4
5007	給水停止割合	給水停止件数 / 給水件数 × 1,000	件 / 1,000件	料金滞納の度合いを示す指標。	31.8
5008	検針委託率	委託した水道メータ数 / 水道メータ数 × 100	%	検針を委託した件数の割合を示す指標。	100.0
5009	浄水場第三者委託率	第三者委託した浄水場能力 / 全浄水場能力 × 100	%	浄水場の運転管理を第三者委託している割合を示す指標。	9.3

b) 適正な維持管理

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
5101	浄水場事故割合	10年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場総数	10年間の件数 / 箇所	過去10年間で浄水場が停止した事故件数の割合。浄水場の安定度を示す指標。	0.0
5102	ダクタイル鋳鉄管・鋼管率	ダクタイル鋳鉄管延長 + 鋼管延長 / 管路総延長 × 100	%	管路の安定性、維持管理の容易性を示す指標。	53.1
5103	管路の事故割合	管路の事故件数 / 管路総延長 × 100	件 / 100km	管路延長100km当たりの事故件数の割合。	5.3
5104	鉄製管路の事故割合	鉄製管路の事故件数 / 鉄製管路総延長 × 100	件 / 100km	鉄製管路100km当たりの事故件数の割合。	4.8
5105	非鉄製管路の事故割合	非鉄製管路の事故件数 / 非鉄製管路総延長 × 100	件 / 100km	非鉄製管路100km当たりの事故件数の割合。	5.9
5106	給水管の事故割合	給水管の事故件数 / 給水件数 × 1,000	件 / 1,000	給水件数1,000件当たりの事故件数の割合。	6.4
5107	漏水率	年間漏水量 / 年間配水量 × 100	%	年間の総配水量に対する漏水量の割合。	16.5
5108	給水件数当たり漏水量	年間漏水量 / 給水件数	m ³ / 年 / 件	給水件数1件当たりの漏水量の割合。	47.6
5109	断水・濁水時間	(断水・濁水時間 × 断水・濁水区域給水人口) / 給水人口	時間	断水・濁水の発生による給水できない時間の割合	0.00
5110	設備点検実施率	電気・計装・機械設備等の点検回数 / 電気・計装・機械設備の法定点検回数 × 100	%	水道施設の管理の適正度を表す指標。	1,230
5111	管路点検率	点検した管路延長 / 管路総延長 × 100	%	管路の適正な維持管理を示す指標。	20
5112	バルブ設置密度	バルブ設置数 / 管路総延長	基 / km	管路の維持管理の容易性を示す指標。	11.0
5113	消火栓点検率	点検した消火栓数 / 消火栓数 × 100	%	消防水利機能の健全性に関する指標。	88.9
5114	消火栓設置密度	消火栓数 / 配水管延長	基 / km	配水管1km当たりの消火栓の件数。消防水利の状況を示す。	1.6
5115	貯水槽水道指導率	貯水槽水道指導件数 / 貯水槽水道総数 × 100	%	貯水槽の水質の安全性確保に関する指標。	0.0

国際 我が国の経験の海外移転による国際貢献

a) 技術の移転

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
6001	国際技術等協力度	人的技術等協力者数 × 滞在週数	人・週	国際的な貢献度を示す指標。	0

b) 国際機関、諸国との交流

番号	指標	算定式	単位	解説	指標値 26年度
6101	国際交流数	年間人的交流件数	件	国際的な貢献度を示す指標。	0